



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 7 日

上場会社名 エンシュウ株式会社 上場取引所 東証一部・名証一部
 コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中安 茂夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 千賀 伸一 TEL (053) 447-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	10,026	4.8	305	△40.0	306	△28.4	56	△79.2
19年3月期第1四半期	9,564	1.2	509	39.9	428	73.0	271	243.9
19年3月期	47,870	—	1,861	—	1,836	—	1,119	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	0	89	—	—
19年3月期第1四半期	5	05	4	50
19年3月期	19	07	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	43,392		12,417		28.6	195	76	
19年3月期第1四半期	43,601		9,017		20.7	167	80	
19年3月期	42,927		12,676		29.5	199	84	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	△628		△559		1,231		3,289	
19年3月期第1四半期	△834		△386		1,969		3,920	
19年3月期	2,228		△2,634		446		3,247	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	23,900	△1.3	900	△21.8	820	△22.0	340	△46.7	5	36
通期	48,400	1.1	1,710	△8.1	1,450	△21.0	670	△40.1	10	57

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成19年5月16日に公表しました連結業績予想は、中間期、通期とも本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景とした民間設備投資の増加や雇用環境の改善による個人消費の増加などにより、景気は引き続き緩やかに拡大しております。

このような情勢の中で当社グループの当第 1 四半期の売上高は 10,026 百万円(前年同期比 4.8%増)となりましたが、利益につきましては主に工作機械関連事業部門が短納期対応などの要因により減益になったことにより、営業利益 305 百万円(同 40.0%減)、経常利益 306 百万円(同 28.4%減)となりました。また、特別損失として会計処理変更による役員退職慰労引当金繰入 209 百万円を計上し、四半期純利益は 56 百万円(同 79.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ 465 百万円(1.1%)増加し 43,392 百万円となりました。この主な要因はたな卸資産の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ 724 百万円(2.4%)増加し 30,975 百万円となりました。この主な要因は長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は当四半期純利益 56 百万円の計上がありました。配当金支払 316 百万円により利益剰余金が減少し 12,417 百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期の営業活動による資金は 628 百万円の減少となりました。これはたな卸資産の増加、法人税等の支払等を要因とするものであります。また、投資活動による資金は主として輸送機器他関連事業部門の設備投資により 559 百万円減少し、財務活動による資金は長期借入金の増加より配当金の支払等を差引し 1,231 百万円の増加となりました。

以上の結果、当第 1 四半期末における現金及び現金同等物の残高は 3,289 百万円と前連結会計年度末より 41 百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 5 月 16 日の前期決算発表時に公表いたしました業績予想を中間期、通期とも下記のとおり修正いたしました。

(中間期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	25,500	1,250	1,100	500	7	89
今回修正予想 (B)	23,900	900	820	340	5	36
増減額 (B-A)	△1,600	△350	△280	△160	△2	53
増減率 (%)	△6.3	△28.0	△25.5	△32.0	△32.1	
前中間期実績 (平成 18 年 9 月期)	24,214	1,151	1,051	637	11	46

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	53,000	2,550	2,200	1,200	18	93
今回修正予想 (B)	48,400	1,710	1,450	670	10	57
増減額 (B-A)	△4,600	△840	△750	△530	△8	36
増減率 (%)	△8.7	△32.9	△34.1	△44.2	△44.2	
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	47,870	1,861	1,836	1,119	19	07

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等については法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響が軽微なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（役員退職慰労引当金）

「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号）の改正に伴い、当第1四半期より、役員退職慰労引当金の支出に備えるため、内規による期末要支給額に基づき役員退職慰労引当金を計上しております。

この変更により、当第1四半期間の発生額7百万円は販売費及び一般管理費に計上し、過年度相当額209百万円は特別損失に計上しております。

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期より、2007年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2百万円減少しております。

当第1四半期より、2007年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能限度額まで償却したものについては、償却が終了した翌連結会計年度から残存簿価を5年間で均等償却しております。

この変更により、営業利益は8百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は9百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	2,654	2,019	△634	△23.9	1,791
2. 受取手形及び売掛金	9,163	9,890	726	7.9	10,333
3. 有価証券	24	92	67	272.4	91
4. たな卸資産	12,546	12,077	△468	△3.7	11,114
5. 繰延税金資産	467	763	296	63.4	751
6. 信託受益権	2,661	1,967	△694	△26.1	2,106
7. その他	200	194	△6	△3.0	243
8. 貸倒引当金	△30	△29	1	—	△32
流動資産合計	27,689	26,976	△713	△2.6	26,400
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	2,262	2,546	284	12.6	2,531
(2) 機械装置及び運搬具	5,227	5,710	482	9.2	5,505
(3) 土地	5,835	5,835	—	—	5,835
(4) 建設仮勘定	676	392	△284	△42.0	794
(5) その他	511	505	△6	△1.2	471
有形固定資産合計	14,512	14,989	476	3.3	15,137
2. 無形固定資産	27	24	△2	△8.9	24
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	153	247	93	60.9	198
(2) 繰延税金資産	1,035	1,017	△18	△1.8	1,018
(3) その他	270	232	△38	△14.1	242
(4) 貸倒引当金	△88	△94	△6	—	△94
投資その他の資産合計	1,372	1,402	30	2.2	1,364
固定資産合計	15,912	16,416	504	3.2	16,527
資産合計	43,601	43,392	△208	△0.5	42,927

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	9,846	9,193	△653	△6.6	9,500
2. 短期借入金	7,778	8,086	307	4.0	7,943
3. 未払法人税等	138	101	△36	△26.5	507
4. 賞与引当金	906	964	58	6.4	640
5. その他	1,976	1,755	△220	△11.1	2,258
流動負債合計	20,645	20,100	△544	△2.6	20,850
II 固定負債					
1. 新株予約権付社債	2,775	—	△2,775	—	—
2. 長期借入金	6,241	5,968	△273	△4.4	4,562
3. 再評価に係る繰延税金負債	2,109	2,109	—	—	2,109
4. 退職給付引当金	2,484	2,363	△120	△4.9	2,410
5. その他	328	433	104	31.8	318
固定負債合計	13,938	10,874	△3,064	△22.0	9,400
負債合計	34,584	30,975	△3,608	△10.4	30,250
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	3,253	4,640	1,387	42.6	4,640
2. 資本剰余金	1,666	3,053	1,387	83.3	3,053
3. 利益剰余金	863	1,451	587	68.0	1,711
4. 自己株式	△23	△32	△8	—	△31
株主資本合計	5,759	9,113	3,354	58.2	9,375
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	32	42	10	32.7	38
2. 繰延ヘッジ損益	0	△3	4	—	△3
3. 土地再評価差額金	3,203	3,203	—	—	3,203
4. 為替換算調整勘定	13	49	36	271.0	51
評価・換算差額等合計	3,249	3,292	42	1.3	3,290
III 少数株主持分	7	11	3	49.0	11
純資産合計	9,017	12,417	3,400	37.7	12,676
負債、純資産合計	43,601	43,392	△208	△0.5	42,927

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	9,564	10,026	462	4.8	47,870
II 売上原価	8,393	8,983	589	7.0	42,877
売上総利益	1,170	1,043	△127	△10.9	4,993
III 販売費及び一般管理費	661	737	76	11.5	3,131
営業利益	509	305	△203	△40.0	1,861
IV 営業外収益	16	96	80	474.6	337
1. 受取利息	0	2	1	255.4	7
2. 受取配当金	0	0	0	95.6	0
3. 持分法による投資利益	0	1	1	246.6	7
4. 賃貸料	6	10	3	60.7	46
5. 受取保険金	—	0	0	—	42
6. 為替差益	—	65	65	—	168
7. その他	9	16	7	78.6	64
V 営業外費用	97	95	△1	△1.8	362
1. 支払利息	57	66	8	15.2	261
2. 社債発行費償却	5	—	△5	—	5
3. 減価償却費	5	10	4	87.6	26
4. その他	28	18	△10	△36.0	69
経常利益	428	306	△121	△28.4	1,836
VI 特別利益	—	—	—	—	1
1. 固定資産売却益	—	—	—	—	1
2. 投資有価証券売却益	—	—	—	—	0
VII 特別損失	4	216	212	—	23
1. 固定資産売却損	1	—	△1	—	3
2. 固定資産廃棄損	2	7	5	197.0	19
3. 投資有価証券評価損	—	—	—	—	0
4. 役員退職慰労引当金繰入	—	209	209	—	—
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	424	90	△334	△78.8	1,814
税金費用	152	34	△117	△77.2	692
少数株主利益又は 損失(△)	0	△1	△1	—	3
四半期(当期)純利益	271	56	△214	△79.2	1,119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	424	90	1,814
減価償却費	378	438	1,596
退職給付引当金の増減額（減少：△）	1	△47	△71
役員退職慰労引当金の増加額	—	114	—
賞与引当金の増加額	306	324	40
貸倒引当金の増減額（減少：△）	2	△3	10
受取利息及び受取配当金	△0	△2	△8
支払利息	57	66	261
為替差益（△）又は為替差損	0	△0	△0
持分法による投資利益	△0	△1	△7
有形固定資産売却益	—	—	△1
有形固定資産廃棄・売却損	4	7	22
売上債権の増減額（増加：△）	34	443	△1,135
たな卸資産の増加額	△1,806	△962	△374
仕入債務の増減額（減少：△）	1,308	△307	962
その他	△990	△259	344
小 計	△280	△100	3,454
利息及び配当金の受取額	0	2	8
利息の支払額	△57	△66	△261
法人税等の支払額	△496	△463	△972
営業活動によるキャッシュ・フロー	△834	△628	2,228
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△0	△0	△67
有価証券の売却による収入	—	—	0
投資有価証券の取得による支出	—	△41	△31
投資有価証券の売却による収入	—	—	5
有形固定資産の取得による支出	△426	△518	△2,588
有形固定資産の売却による収入	40	0	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△386	△559	△2,634
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金による収入	—	—	1,920
短期借入金の返済による支出	△212	△240	△1,582
長期借入金による収入	—	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△817	△710	△2,881
新株予約権社債の発行による収入	3,000	—	3,000
配当金の支払額	—	△316	—
自己株式の取得による支出	△1	△0	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,969	1,231	446
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△1	44
V 現金及び現金同等物の増加額	757	41	84
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,163	3,247	3,163
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,920	3,289	3,247

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	工作機械 関連事業	輸送機器他 関連事業	計	消去又 は全社	連結
売上高					
外部顧客に対する 売上高	3,898	5,666	9,564	—	9,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	—	141	(141)	—
計	4,039	5,666	9,705	(141)	9,564
営業費用	3,714	5,458	9,172	(117)	9,054
営業利益	325	207	533	(23)	509

当四半期 (平成20年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	工作機械 関連事業	輸送機器他 関連事業	計	消去又 は全社	連結
売上高					
外部顧客に対する 売上高	4,049	5,976	10,026	—	10,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	—	86	(86)	—
計	4,136	5,976	10,112	(86)	10,026
営業費用	3,995	5,799	9,795	(74)	9,720
営業利益	140	176	317	(11)	305

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位:百万円)

	工作機械 関連事業	輸送機器他 関連事業	計	消去又 は全社	連結
売上高					
外部顧客に対する 売上高	23,259	24,611	47,870	—	47,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	504	—	504	(504)	—
計	23,763	24,611	48,374	(504)	47,870
営業費用	22,757	23,687	46,444	(435)	46,009
営業利益	1,005	924	1,929	(68)	1,861

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質によっております。

2. 各区分の主な製品

- (1) 工作機械関連事業……フレキシブルトランスファーマシン&ライン、各種専用機、マシンニングセンタ、半導体レーザー加工機他
- (2) 輸送機器他関連事業……二輪車用エンジン、雪上車、ゴルフカー及びバギー車の部品加工、船舶用エンジンの加工組立、自動車用部品の加工

3. 営業費用はすべて各セグメントに賦課しており、配賦不能営業費用はありません。